

平成29年度 生涯研修制度 基礎研修Ⅲ

ガイドブック

(公社) 大分県社会福祉士会

事務局

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番地41号 大分県総合社会福祉会館2F

TEL/FAX 097-576-7071 専用携帯 080-1723-0968

メールアドレス oita-jacsw@axel.ocn.ne.jp

研 修 の 概 要

- **ねらい**
社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を踏まえた、実践の展開を学ぶ。
- **到達点**
 - 1 社会福祉士としての権利擁護実践の基礎を理解する。
 - 2 ソーシャルワークの理論を踏まえた援助システムを理解する。
 - 3 地域福祉システムと実践の関係を理解する。
 - 4 事例研究の基礎を理解する。
 - 5 スーパービジョンを体験する。
- **研修期間** 平成29年5月～平成30年3月
- **受講要件**
日本社会福祉士会会員であり、期日までに基礎研修Ⅲの申し込みを行った方が対象です。
- **受講申込締切** 平成28年4月15日
- **受講料** 25,000円
 - ・受講決定通知に同封されている、払込用紙にて指定の期日までお支払ください。尚、受講料をお支払いただいた後の返金はいけません。
 - ・ワークブック代は含みません。
- **受講申込要領**
参加申込みは別添申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて事務局までお申し込みください。
- **受講通知書**
受講可否は、申込締切後に決定し通知致します。通知は5月上旬を目途として予定しております。
- **修了基準**
 - 1 基礎研修Ⅲでは、集合研修毎に修了が判断されます。各集合研修への出席及び、事前課題、中間課題の期限内提出、事後課題の提出と講師による評価をもって、該当する集合研修が修了となります。今年度修了できなかった集合研修については、期間延長の手続きを行う事により、翌年度該当する集合研修を受ける事が出来ます。基礎研修Ⅲ全ての集合研修が修了した受講者には、当該年度に修了証書が発行されます。
 - 2 15分以上の遅刻・早退、欠席は認めません。
 - 3 遅刻・早退・欠席した科目は、次年度開催時に受講することで修了とします。
※詳しくは事務局へお問い合わせください。
- **研修時にご持参いただくもの**
 - ・受講通知書
 - ・『新社会福祉援助の共通基盤』
 - ・生涯研修手帳
 - ・筆記用具
 - ・基礎研修テキスト・ワークブック等

○ 基礎研修 九州沖縄相互乗り入れについて

平成26年度より、基礎研修課程受講者においては、受講生の便宜を図る為、自県で開催される、基礎研修が受講できない場合、他県で開催される基礎研修に参加できるようにしました。平成28年度においては、取扱いが決まり次第ご連絡させていただきます。

カリキュラムと内容

	科目	テーマ・ねらい	内容	提出期間
集合研修1	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・対人援助の本質と事例研究の定義を理解する。 ・事例研究の基本的枠組みについて理解する。 ・事例研究の方法としてのケースカンファレンスについて理解する。 	<p>講義</p> <p>日時：平成29年5月14日（日） 午前9時～午後5時00分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p>	
事前課題（レポート課題①）		<p>基礎研修Ⅱ 集合研修1で実施した、ソーシャルワーク理論系科目「実践事例演習」を改めて振り返り、「社会福祉援助の展開過程」を踏まえた上で、自らが現在実践している事例のうち1つを、所定の書式にそって、A4用紙1～2枚程度にまとめてください。</p> <p>事例の作成に当っては、個人の要素・組織内での連携・地域連携の視点を考慮し、まとめてください。作成した課題は、実践事例演習Ⅱ報告会で、全員に発表して頂きます。</p> <p>現在、実務についておらず、過去に実践をしていたことのある方は、過去の実践を改めて振り返り、課題を作成してください。</p> <p>今までにも一度も実務経験のない方については、実践モデルのうち一つを選び、展開過程にそって、必要とされる「価値・知識・技術」について、1200字以内にまとめてください。</p> <p><u>作成した事前課題は、研修当日指定された人数分持参してください。そのうち1部は研修当日、受付で提出していただきます。</u></p>		<p>集合研修2 平成29年6月11日（日）開催当日受付にて提出してください。</p>
集合研修2	実践評価・実践研究系科目Ⅰ ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・実践事例についてのまとめ方を理解することができる。 ・利用者の生活ニーズをどのように支援目標の設定に活かしていくのか、支援計画の作成の実際について、自身の実践計画とソーシャルワークの実践理論と結び付け、整理して、改善に結びつける。 	<p>講義・演習・報告会</p> <p>日時：平成29年6月11日（日） 午前9時～午後5時00分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p> <p><u>※事前課題（レポート課題①）の提出をもって集合研修2の受講を認めるものとします。</u></p>	
修了レポート	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・実践事例演習で、他のメンバーから確認されたことを整理してください。 ・新たに確認できた、自らの実践における課題を挙げてください。 ・自らの実践を振り返り、ソーシャルワークの理論と実践を結び付けることの重要性について学んだことを記載してください。 		<p>平成29年6月12日～平成29年6月30日（金） (6/30消印有効)</p>

<p>中間課題 (レポート課題②)</p>		<p>集合研修2「事例研究の為の事例のまとめ方」についての講義を受けたうえで指定されたフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめる。 <u>※集合研修2の全ての講義に出席していることが必要となります。</u></p>	<p>平成29年6月12日(月)～6月30日(金) (6/30 消印有効)</p>	
<p>集合研修3</p>	<p>実践評価・実践研究系科目 I</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬事例検討会 	<p>演習</p> <p>日時：平成29年7月9日(日) 午前9時～午後5時00分 会場：大分県社会福祉介護研修センター <u>※中間課題(レポート課題②)の提出をもって集合研修3の受講を認めるものとします。</u></p>	
<p>修了レポート</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定されたフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめたものを集合研修で相互評価してもらったうえで推敲する。 	<p>平成29年7月10日～平成29年7月30日 (7/30 消印有効)</p>	
<p>事前学習・事前課題 (レポート課題③)</p>		<p><u>事前学習</u> 基礎研修テキスト『新 社会福祉援助の共有基盤 第2版』</p> <p><u>事前課題</u> 「意思決定の支援の必要性」についてあなたの考えを、ホームレスを例に挙げて1200字程度にまとめて下さい。その際、「<u>判断能力</u>」「<u>アセスメント</u>」「<u>エンパワメント</u>」という言葉必ず用いて下さい。</p>	<p>平成29年8月1日(火)～8月18日(金) (8/18 消印有効)</p>	

<p style="text-align: center;">集合研修 4</p>	<p style="text-align: center;">権利擁護・法 学系科目 I</p>	<p>・認知症や精神障害、知的障害などの意思能力に障害のある方に対する、意思決定の支援方法を学ぶ。 ・権利侵害を防止し対処するために、法律等をふまえた実践力を身につける。</p>	<p style="text-align: center;">講義・演習</p> <p>日時：平成 29 年 9 月 10 日（日） 午前 9 時～午後 5 時 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p> <p><u>※事前課題（レポート課題③）の提出をもって集合研修 4 の受講を認めるものとします。</u></p>	
<p style="text-align: center;">事後課題 （レポート課題④）</p>		<p>①自分に対応する「意思決定の支援が必要な対象者」を想定し、 ②「意思決定の支援の必要性」の判断根拠を示したうえで、③想定される支援プロセスを 2000 字程度でまとめて下さい。</p> <p><u>※期日までに事後課題の提出がない場合は、修了を認めません。</u></p>		<p>平成 29 年 9 月 15 日（金）～9 月 29 日（金） （9/29 消印有効）</p>
<p style="text-align: center;">事前課題 （レポート課題⑤）</p>		<p>①所属組織が所在する自治体で策定されている地域福祉計画等を読み、あなたが支援している利用者を想定しながら、 （ア）地域福祉計画等のどの部分が、利用者の生活にどのように関係しているか （イ）実際に支援する場合、利用者に対する支援にどのように活用できるか （ウ）利用者に対する支援と地域福祉計画等を結び付けて考える場合に課題となりそうなことはなにか について、各項目を含め、1200～1500 字にまとめてください。</p> <p>【課題作成時の留意点】 <u>・この課題の提出がないと、「地域における福祉活動」の集合研修 5 は受講できません。</u> ・現在、利用者の支援に携わっていない方は、過去に支援した利用者を想定してください。これまで、支援に携わった経験がない方はあなたの家族や周囲の人を想定してください。 ・所属組織を持たない方は、居住地の自治体が策定している地域福祉計画等を参考にしてください。 ・自治体が地域福祉計画を策定していない場合は、高齢者・障害者・児童等の福祉計画を参考にしてください。</p>		<p>平成 29 年 9 月 18 日（月）～10 月 2 日（月） （10/2 消印有効）</p>

<p style="text-align: center;">集合研修5</p>	<p style="text-align: center;">地域開発・政策系科目 I</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自組織が所属する自治体が策定している地域福祉計画等について知り、地域の特性や、現状と課題、今後自治体が進めようとしている方向性、福祉政策について確認する。 ・地域における福祉活動を知り、今後の社会福祉調査・福祉計画立案に活用できるよう地域福祉に関する理論を総合的に学ぶ。 	<p style="text-align: center;">講義・演習</p> <p>日時：平成29年10月8日（日） 午前9時～午後5時</p> <p>会場：大分県社会福祉介護研修センター</p>	
<p style="text-align: center;">中間課題 (レポート課題⑥)</p>		<p>① あなたが現在、支援している利用者、あるいは過去に支援していた利用者を想定しながら、ヒアリングシートを記入してください。</p> <p>② ①で作成したヒアリングシートをもとに、企画シートを作成してください。その際下段にある事後課題の欄は空欄のままにしてください。</p> <p>【課題作成時の留意点】</p> <p><u>・作成した中間課題は、研修当日指定された人数分持参してください。そのうち1部は研修当日、受付で提出していただきます。</u></p> <p><u>・この課題の提出がないと、「地域の課題の解決に向けた具体策について」の集合研修6は受講ができません。</u></p> <p>・これまで利用者の支援に携わった経験がない方、実際の利用者では想定が難しい方は、あなたの家族や周囲の人を想定してください。</p> <p>・ヒアリングシートの項目は、集合研修5の講義や演習をふまえ、各自で増やして頂いても構いません。増やした項目については、シートを各自作成して最後のページに添えてください。</p> <p>・企画シートを作成する際は、ヒアリングシート作成時に想定した利用者が生活する地域を想定してください。地域の規模は問いません。</p>	<p style="text-align: center;">集合研修6 平成29年12月3日（日）開催当日受付にて提出してください。</p>	

<p>集合研修 6</p>	<p>地域開発・政策系科目 I</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所属組織が所在する地域におけるネットワークシステムや地域活動等についてアセスメントし、住民の生活課題や福祉ニーズを発見する。 ・アセスメント結果をもとに、生活課題や福祉ニーズを解決するための地域介入の方法を模索できる。 ・実施した調査・計画を第三者へ伝える。調査方法や計画について第三者より評価を受ける。 ・評価結果に基づき、自らの計画案を修正できる。自組織が所属する地域の中で期待されている役割や課題解決に向けた方向性について考察することができる。 	<p>講義・演習</p> <p>日時：平成 29 年 12 月 3 日（日） 午前 9 時～午後 5 時 00 分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p>	
<p>事後課題 (レポート課題⑦)</p>		<p>①中間課題（レポート課題⑥）で作成した企画シートに対して、集合研修⑥の演習で助言された「よりよくするための工夫」を参考に、企画シートの修正を行い、『完成版』を作成してください。</p> <p>②修正した『企画シート』をもとに、企画を具体化するための今後の方向性について 500 字程度でまとめてください。</p> <p>③企画の具体化や、地域課題を解決するためにあたり、あなたが所属する組織に求められている課題や今後の方向性について 1200～1500 字程度でまとめてください。</p> <p>【課題作成時の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画の具体化を考える際には、できるか・できないかではなく、どうすれば具体化につながられるかの視点で考察してください。 ・所属組織を持たない方は、社会福祉士として地域の中で何ができるか、求められていることは何かについて考察してください。 	<p>平成 29 年 12 月 4 日（月）～12 月 22 日（金） （12/22 消印有効）</p>	

<p style="text-align: center;">事前課題</p>		<p>◆事前課題シート①（様式1） ・サービス管理・経営系科目に用いられる用語の整理を行う。</p> <p>◆事前課題シート②（様式2） ・所属組織における苦情・事故・インシデント・ヒヤリハット発生時の対応方法（マニュアル）について調べる・</p> <p>◆事前課題シート③（様式3） ・所属組織の苦情対応委員会について調べる。第三者委員の関わりを調べる。</p> <p>◆事前課題シート④（様式4） ・委員会で決定した事項の周知方法について所属組織で工夫している点を調べる。</p> <p><u>・この課題の提出がないと、の集合研修7は受講ができません。</u></p>		<p style="text-align: center;">平成30年1月5日（金）～1月19日（金） （1/19消印有効）</p>
<p style="text-align: center;">集合研修</p>	<p>サービス管理・経営系科目 I</p>	<p>・公共事業、社会福祉事業を運営する組織の目的と機能を学び、組織における仕組みを踏まえた役割と立場を理解する。</p>	<p style="text-align: center;">講義・グループ討議</p> <p>日時：平成30年1月20日（土） 午後1時30分～午後5時00分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p>	

<p>集合研修</p>	<p>サービス管理・経営系科目Ⅰ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織で実施するサービス評価・第三者評価等の視点を学び、実践に活用していくことを学ぶ。 ・サービスを展開する上でのリスクマネジメントの考え方を学ぶ ・利用者の権利擁護の視点から苦情解決の意義を学び、苦情解決システムの概要を知る。 	<p>講義・グループ討議</p> <p>日時：平成30年1月21日（日） 午前9時00分～午後5時00分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p>	
<p>集合研修7</p>	<p>サービス管理・経営系科目Ⅰ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の意思決定、経営の基本的な枠組みを理解した上で、サービス管理の仕組み・方法を学習し、所属組織のサービス管理業務の課題を発見する。 	<p>演習</p> <p>日時：平成30年2月11日（日） 午前9時～午後5時00分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p> <p><u>※前2回のサービス管理経営系科目Ⅰの講義を全て受講していないと本講義を受講することができません。</u></p>	
<p>事後課題（レポート課題⑧）</p>		<p>事後課題①（所定書式） 集合研修7 演習の、苦情対応からサービス改善の一連の流れをふまえ、苦情が発生してから、対応の働きかけ先・方法・役割分担と時期等をレポートにまとめなさい。</p> <p>事後課題②（所定書式） 集合研修・集合研修7を通して学んだことを参考にして、所属組織でサービス管理・サービス改善等を行う場合の課題について800～1200字程度でまとめなさい。</p>	<p>平成30年2月12日（月）～2月23日（金） （2/23 消印有効）</p>	

事前課題		<p>・自己チェックシートの記入を行い、集合研修8当日に受付にて提出してください。 ※参考『自己評価ワークブック』（中央法規出版）個別レベル・組織レベル</p>		<p>集合研修8 平成30年3月4日（日）開催当日受付にて提出してください。</p>
集合研修8	人材育成系科目Ⅰ	<p>・スーパービジョンのプロセスと視点について再確認する。</p>	<p>講義・演習</p> <p>日時：平成30年3月4日（日） 午前9時～午後1時30分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p>	
事前課題		<p>①自己の実践の振り返りを自己チェックリストを用いて行ってくる。（指定書式）</p> <p>②職場の研修プログラムについて調べてくる。 所属する職場の研修体系などをほかの人に説明をすると仮定して説明資料を整理してください。</p> <p>①現状、②よい点・工夫している点、③課題と思われる点についても整理してください。なお、参考となる資料があれば職場の許可を経て持ってきてください。また職場で研修体系等が整備されていない場合、あなたはどのように研鑽を積んでいるか説明してください。</p> <p>①現状、②よい点・工夫している点、③課題と思われる点についても整理してください。</p> <p>・現在職についていない場合は、過去に働いていた職場について整理をしてください。</p> <p>・これまで働いた経験がない場合は、どこで働きたいか、どんなワーカーになりたいか、それにはどのような研鑽を積んでいけばよいと思うかを記述してきてください。</p> <p>③グループワークの中で、受講生みなさんの職場を紹介して頂きますので、職場のパンフレット等があれば、指定された人数分ご持参ください。</p>		<p>集合研修9 平成30年3月18日（日）開催当日受付にて提出してください。</p>

<p style="text-align: center;">集合研修 9</p>	<p style="text-align: center;">人材育成系 科目Ⅰ</p>	<p>・自己を振り返りながら、所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について系統的に説明できる。後進育成プログラムについて企画・運営プログラムを立案できる。</p>	<p style="text-align: center;">講義・演習</p> <p>日時：平成30年3月18日（日） 午前9時～午後5時00分 会場：大分県社会福祉介護研修センター</p>	
---	--	--	--	--

レポートの作成・提出について

- 1 原則指定された書式以外は、文書作成ソフト「ワード」で作成してください。やむを得ず、手書きされる場合は400字詰原稿用紙にボールペンで作成してください。
※提出用以外に必ず控えを取っておいてください。
- 2 各課題のレポート用紙の上に、「レポート名」「受講番号」「氏名」を記入し、用紙の下にページ番号を記入してください。レポートが複数枚に渡る場合はホッチキス等で必ずとめてください。※上記内容は文字数には含みません。
- 3 課題毎に提出期限を設けておりますのでお間違えのないようご注意ください。
- 4 レポートは提出票を頭に添付し、任意の封筒に入れ事務局へ郵送して下さい。メールもしくはFAXでの提出は受け付けませんのでご了承ください。
封筒には必ず「氏名」「住所」を明記し、併せて、「基礎研修Ⅲレポート在中」と明記してください。
※提出用以外に必ず控えをとっておいて下さい。
※レポート提出用封筒には科目ごとのレポートを入れて下さい（まとめて入れないでください）
- 5 レポートの提出をもって集合研修への受講又は修了を認めることとなります。

研修予定会場一覧

●大分県社会福祉介護研修センター 社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
〒870-0161 大分県大分市明野東3丁目4番1号
T E L : 097-552-6888 F A X : 097-552-6868 <http://www.okk.or.jp/wp/>

○ 申込み・問い合わせについて

(公社)大分県社会福祉士会事務局
〒870-0907 大分市大津町2丁目1番地41号 大分県総合社会福祉会館2F
T E L / F A X 097-576-7071 専用携帯 080-1723-0968
メールアドレス oita-jacsw@axel.ocn.ne.jp